

まくゆま

YAMAGUCHI Nursing Association

山口県看護協会報

April
【春号】

2017

Vol.137



多くの方にご来場いただきました



メンバーも楽みました



気になる体脂肪



肌年齢測定は一番人気

CONTENTS

- 2 重点方針・受賞者紹介
- 3~5 支部長メール(岩国・宇部・豊浦)
- 6 ひたむきな保健師Vol.27
- 7 研修会報告
- 7 研修時の駐車場と弁当の取り扱い
- 8・9 ナースセンターだよりNo.121
- 10 看護師職能活動紹介
- 11 看護制度委員会活動報告
- 12 働き続けられる職場づくり推進事業

- 12 全国学会に参加しましょう!
- 13 医療安全情報No.34
- 14・15 選挙についてのお知らせ
- 15 information
- 16 まごころ通信
- 16 表紙に寄せて
- 16 平成29年度の入会について
- 16 会員証について
- 16 お知らせ・編集後記

平成28年度
山口県看護協会会員数

2017年3月31日現在

○保健師	471名
○助産師	326名
○看護師	8,506名
○准看護師	712名
合計	10,015名

(加入率: 42.0%)

平成29年度 公益社団法人山口県看護協会重点方針

2025年の少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革が進められており、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医師・看護師等の医療従事者の確保・勤務環境の改善、地域包括ケアシステムの構築等が推進されている。

公益社団法人山口県看護協会は、「県民の健康な生活の実現」に寄与することを使命として掲げ、「教育と研鑽に根差した専門性に基づく看護の質の向上」「働き続けられる職場づくり」「看護領域の開発・展開」を推進することを定めていることから、以下の4項目を重点方針として平成29年度取り組むこととする。

1 地域包括ケアにおける看護の機能強化

地域包括ケアシステムの構築の推進を図るため、各職能の活動を強化するとともに、地域医療ビジョンやそれを具現化する医療計画・介護保険計画への働きかけ、医療機能別の配置のあり方・地域偏在の是正に対する対応・他職種との役割分担の在り方を含めた需給の適正化等に戦略的に取り組み、医療機関及び地域における看護人材の確保を図る。

また、療養する高齢者だけでなく、子どもを産み育てる人々、子どもたち、障害のある人々などを含むすべての人々の生活を地域で支えるものであると考え、引き続き母子保健活動、疾病・重症化予防活動等にも取り組むこととする。

2 看護職の就業と定着の促進

2025年に向け看護職の不足が言われている現在、適切な教育を基盤に、就業を継続することで、知識や経験が集積され能力を高めていくことができるところから、人材の確保・活用のためには、働いている看護職の定着促進が最も重要である。

また、質の高い人材を確保するには、働く環境整備は不可欠である。そのために看護職が活き活きと健康で働き続けられる職場環境改善を支援すると共に、ナースセンター届け出制度等を利用した就業支援を推進し、看護職の確保・定着を図る。

3 看護の質の向上とキャリア形成の推進

地域包括ケアシステムにおいては、住民に身近な存在である看護職の医療的判断や実施における裁量の拡大が、地域において人々が安全に安心して療養できることにつながる。今後、看護職の役割・裁量の拡大に向けた制度の在り方についても検討されることから、新たな研修体制を構築するなどし、将来的な役割拡大の基盤となる看護職のクリニカルラダーの活用の推進を図る。

4 組織の強化

保健医療分野の様々な施策の実施主体が国から県、そして市町へと移行していること、地域医療構想の策定が本格化し、各医療圏の特性に応じた対応が求められていること等から、支部との連携・協力のもと、協会の使命である地域の特性に応じた質の高い医療・看護の提供ができるよう協会組織の強化を図ることとする。

受賞者紹介

受賞おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます。

第45回都道府県医療功労賞表彰 萩市東地域包括支援センター 仁保 鈴子 氏

「岩国支部の活動紹介」

岩国支部

岩国支部は、平成27年度から、看護職の認知症ケアにおける質の向上と住民への認知症に関する普及啓発に取り組んでいます。

主な活動として、平成28年3月、7月及び平成29年1月に、認知症介護研究・研修東京センターの永田久美子先生をお迎えして「看護職のための認知症対応力向上研修会」を開催しました。

これは、山口県岩国健康福祉センターや岩国市地域包括支援センターと協働し3回シリーズで開催したもので、毎回多くの出席者が熱心に受講しました。

先生が私達に強調されたのは、研修会を契機に日々の看護を振り返り、「できること」を見つけ仲間を増やしながら、改善に向けて小さなことからでも実践することが大切ということです。

出席者は、研修会をきっかけとして、実際に看護の現場でADL改善や徘徊、拒否、暴言への対応、地域資源の活用等、さまざまな取組を行いました。その具体的な内容については、出席者だけでなく受講できなかった看護職も共有できるようにするため、山口県看護協会のホームページ「支部活動近況報告」に掲載しています。皆様もぜひご覧ください。

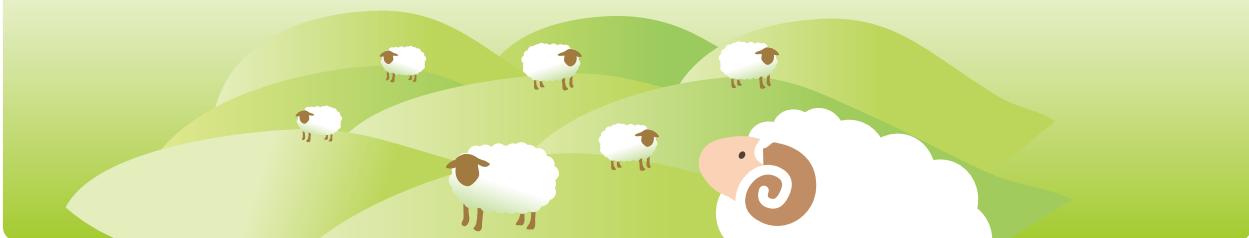
また、研修会では他にも、地域の社会資源について理解するとともに、グループワークで事例検討を行いました。病院や施設、行政等に所属する看護職が、病院事例と地域事例をもとに意見交換し、病院から地域へのつなぎや関係機関・他職種との連携について実践的に学びました。

そのほかの活動として、まちの保健室や岩国まつり等のイベントでは、相談コーナーにおいて物忘れ相談タッチパネルを活用し、住民の方々に言葉の再認や日時の見当識、図形認識等に関する質問項目をセルフチェックしていただくことで認知症への関心を促し、認知症予防や相談窓口等について周知啓発を行いました。

今後も、岩国支部では、住民の方々が認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心してその人らしく過ごせることを目指し、取り組んでいきたいと考えています。



認知症介護研究・研修東京
センター 永田久美子先生





宇部支部活動紹介

宇部支部

宇部支部は周防灘の美しい景観と、木々の緑に囲まれた自然豊かな山口県西部に位置し、2,031名と多くの会員数を有しています。

平成28年7月2日（土）に、支部会員の協力のもと、無事に支部集会を終え、今年度の活動を開始しました。

まずは、平成28年12月12日（月）に支部交流会として開催した、「褥瘡研修会」の報告をします。講師には、山口大学医学部附属病院 皮膚排泄ケア認定看護師である安達康子先生をお迎えしました。「褥瘡の予防と対応」というテーマで、褥瘡の基礎的な知識から、最新の治療・予防対策まで、多くの資料を準備していただき、平日の夕方にも関わらず98名と多くの参加がありました。今回、山口宇部医療センターとの協催であり、他職種の参加も見受けられましたが、訪問看護ステーション等の個人会員の皆様の参加も多く、日々行っているケアの疑問解決や確認などができたという声もありました。今後も看護の質向上を目指した内容の検討・企画・立案をし、出来るだけ多くの会員が参加できる研修を開催していくたいと思っています。

次に、宇部支部での主な活動として、毎月第3土曜日にゆめタウン宇部の一部をお借りし、「まちの保健室」を開催しています。年間900名程度の来場者があり、血管年齢測定や健康相談等を行っています。毎月心待ちにしている方もおられ、地域の皆様との交流を通して、健康維持に貢献できるよう活動しています。また、奇数月には、助産師活動として、妊娠婦相談・育児相談も行っており、11月には「いいお産の日」にちなんでのイベントも開催しています。

その他には、JA農業祭での健康相談や、市からの総合防災訓練協力等、依頼への参加も行っており、今後も支部活動の一環として地域への健康・福祉の増進に寄与していきたいと考えています。

2月には講師に山口大学大学院医学系研究科保健学科領域教授である永田千鶴先生をお迎えして、看護研究発表会を教育委員会主催で開催する予定です。また同月には、「心とからだの癒しに役立つ植物療法～南フランスプロヴァンスより～」のテーマで、㈱グリーンフレグランス代表取締役 教室「アロマリラックス」主宰の枠田久美子先生を迎えての三職能合同研修会も予定しています。

今後も専門職として成長し続け、支部会員が交流を通して情報交換ができるよう、活動していきたいと考えています。





平成28年度 支部活動について

豊浦支部

豊浦支部は下関の北部に位置し、豊浦・豊北・菊川・豊田の4町の広域で活動を行っています。支部会員数は220名と最少ですが、地域密着の施設・病院で勤務しているスタッフが多く、顔が見える関係つくりに支部活動が生かされていると感じています。

研修内容も高齢化率の高い地域が抱える問題をテーマに計画しています



【活動報告】

第1回の研修会は「認知症の人への対応」のテーマで下関市立市民病院・認知症看護認定看護師の林邦厚先生にご講義をいただきました。全国第4位と高齢化率の高い山口県において認知症の現状は深刻な問題で疾患・症状の理解と個々に寄り添った対応が求められます。また認知症認定看護師として病院での活動状況や認定看護師を目指す方へのアドバイスとして複数の書籍も紹介していただき具体的な学習の参考になり充実した講演内容でした。



第2回の研修会は平成29年2月11日に山口県歯科医師会と看護協会豊浦支部の協賛での「医科歯科連携のための基礎知識と口腔ケアについて」を予定しております。

入院中の患者さんや在宅療養中の患者さんの誤嚥性肺炎予防や「口から食べる」を支える口腔ケアの実践を歯科医師、歯科衛生士の方に講演いただく予定です。

交流会では「ハンドケア・リラクゼーションヘッドマッサージでリラックス

～私たちも癒されたい」をテーマにヘアケアアドバイザーの方をお招きして参加者同士のリラクゼーションマッサージを行いました。ハンドケアは「肌と肌の触れ合い」で行うコミュニケーションであり、心身ともに安心感やリラックス効果が得られます。される人の心を癒すだけでなく、する人への感謝の心が生まれ、そして自然に笑顔となります。いい香りのする会場ではあちらこちらで心地よい会話と笑顔があふれていきました。施術の際はやってあげるという感覚でなく、寄り添っている感覚で行う。すべて看護ケアに通じるものであり、今回のリラックス効果が明日への活力につながったのではないかでしょうか。

今後多くの会員が参加できる研修を開催し支部活動を推進してまいりたいと思います。



様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。

「人は宝。出会いを大切に! ～いきいきと、誠実な対応を～」

下松市健康増進課 課長 笠谷 由美子さん

profil

出身地：下松市

血液型：A型

家族構成：現在は、夫・長男・次女との4人暮らし

趣味：退職に向け模索中



下松市健康増進課の皆さん。中央が笠谷さんです。

✿ 保健師を目指したきっかけ

☆友人の誘いもあり、広島の看護学校を受験しました。入学当時から、「4年間は勉強したい!」という思いがあり、看護学校を卒業後、もう1年、保健師学校へ進学しました。縁あって、出身地である下松市に募集があり、現在に至ります。

✿ 保健師活動の中で心に残っていること

「情報管理システムの導入」

☆入所時、すべて手書きだった検診結果通知などが、健康管理システムの導入により電算化されました。当時、産休明け間もない時期に、システム化の事業に関わることとなり、時間との闘いでした。業者との打ち合わせも時間外だったので、子どもがいるからと、上司の計らいにより終了時間を決めてもらっていました。

「母子保健計画の作成」

☆平成6年度に下松市母子保健計画を作成しました。当時、保健所は地区担当制で、下松市担当の保健師さんと話し合いを重ね、指導を頂きながら完成しました。その過程で、1歳6ヶ月児生活時間のアンケート調査を実施し、その結果を発表する機会をいただき名古屋まで行きました。保健所の保健師さんと一緒に楽しく仕事をさせていただいたことが懐かしいです。

✿ 保健師活動の中で大切にしていること

「相手の話を聞くということ」

☆相手の話を、できるだけ相手と同じ気持ちになって聞くように努めています。自分の感情を入れすぎずに聞き、相手が何を求めているのか考え、助言をするようにしています。学生時代、先生に「自分の意見を押し付けるのではなく、相手の気持ちを聞くように。」と指導されたことを今でも大切にしています。

「相手を知ろうと出向くこと」

☆相手のおられる場所に足を運ぶことも大切なことだと思い、動くように心がけています。電話だけでは相手の表情など分からなければ、訪問することで、その人のいろいろなものが見えてきます。

✿ 「後輩へのメッセージ」

☆一人ひとりの人との出会いが大切だと思います。その人の姿から学ぶことがあります。誠実に接していれば、助けてくださる人になります。人は宝物です。

☆持っている力を、市民の健康づくりのために発揮していただければと思います。

職場の仲間からひとこと

気配りがすごい!です。職員のことをいつも気遣ってくださり、優しく温かいお人柄が、健増進課の和やかで働きやすい職場の雰囲気を作っています。フットワークの良さもピカイチで、何かあつたら現場や市民の元へサササッと駆けつける姿勢は保健師のお手本です。弱点は比類ない涙もろさかな?日常会話の中でもウルウル…あっという間に目が赤くなり、思わずもらい泣きをしてしまうこともあります。保健師としてはもちろん、人としても尊敬すべき課長さんとご一緒に仕事ができる日々を大切にしたいと思います。

インタビューを終えて (インタビュアーの感想)

穏やかで笑顔が素敵な笠谷さん。温かく、いきいきと活動される姿に憧れます。上記の素敵な写真が笠谷さんの人柄を表しているように思います。笠谷さんのように、私達も人との出会いを大切に、誠実に保健師活動をしていきたいと思います。

担当は、堺（周南支部）・田中（県職能）でした。

～病棟看護師が地域と連携できるシステムづくり～

平成28年度診療報酬改定では、「地域包括ケアシステム」の推進と、「病床の機能分化・連携」を含む医療機能の分化・強化・連携を一層進める方針が示されました。患者が安心・納得し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、積極的な退院支援や退院直後の在宅支援に関する新たな評価がされるようになりました。このような中で、病棟看護師が在宅療養支援の視点で看護が提供できるためには、どのようなシステムを作っていくべき良いのか、地域における自病院の役割と将来像を考えながら、先行事例から学ぶ機会とする目的で、1月14日(土)に研修会を開催しました。39施設、116名の参加者がありました。

○特別講演 テーマ 「地域医療構想について～山口県の現状と今後～」

講 師 山口県健康福祉部 理事 岡 紳爾氏

○基調講演 テーマ 地域包括ケアシステムと在宅療養支援のあり方についての提言

講 師 川崎医科大学総合医療センター

看護部長付参与兼川崎医療福祉大学特任教授 山田 佐登美氏

○事例報告

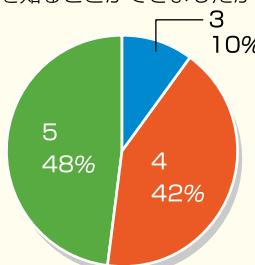
看護部長付参与兼川崎医療福祉大学特任教授 山田 佐登美氏

<アンケート結果>

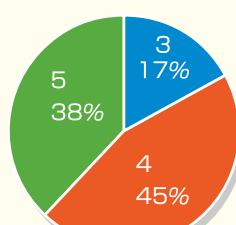
問への回答は、5：できた・なったから、1：できなかった・ならなかったの間で該当する数字を選んでもらった。



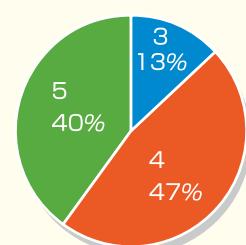
問) 1-1) ① 山口県の地域医療構想の内容を知ることができましたか。



問) 1-1) ② 地域における自病院の役割と将来像を考える上で参考になりましたか。



問) 1-2) 地域包括ケアシステムを推進する上で、病院における在宅療養支援の参考になりましたか。



何れの問い合わせに対しても5及び4が80%以上と好評価であった。自由記載欄には、「タイムリーな内容で自施設の今後の取組みに役立つ」「今は自分の病院だけで考える時代ではないと感じた」などの記載があった。また、今後も中小規模病院の取組みや、地域包括ケア病棟についてなどの研修開催の希望があった。

研修時の駐車場の利用と弁当の取り扱いについて

(1) 研修参加時の駐車場のご利用について

当協会開催の研修へ積極的にご参加いただきありがとうございます。

看護協会の駐車場は専用駐車場のみです。山口県看護研修会館の後ろの河川敷は、看護協会の駐車場ではありません。研修参加者が160名を超える場合のみ、駐車場係員を配置し臨時に使用させていただいておりますので、駐車される場合はご注意ください。

(2) 研修開催時のお弁当の取り扱いについて

研修時にお弁当の斡旋を行っておりましたが、平成29年4月から、研修時のお弁当の斡旋は実施しないことになりました。研修参加者は、各自で昼食をご用意ください。

なお、研修中は車の移動ができない状況も生じますことから、研修開始までにご準備いただくことをお勧めします。

やまぐち ナースセンターだより

No.121

「平成28年度 再チャレンジ研修」が終了しました

研修終了者数21名

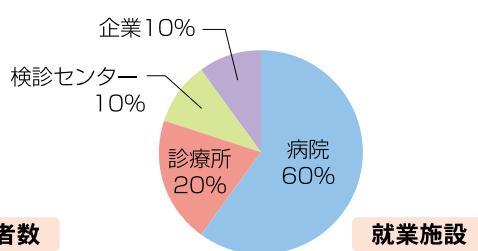
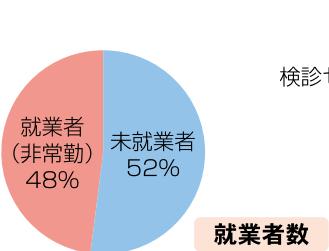
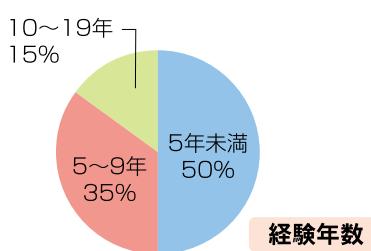
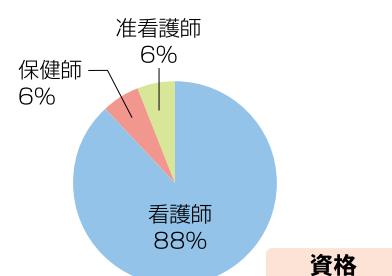
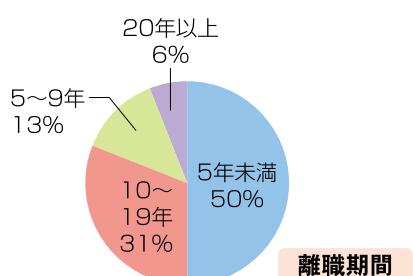
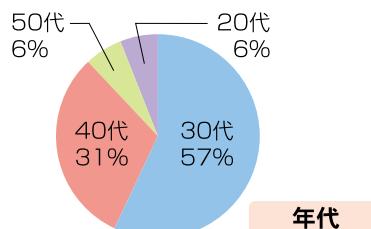
就業者数10名（平成29年2月末）

○研修施設

I期（4月～6月）	II期（7月～9月）	III期（10月～12月）	IV期（1月～3月）
岩国市医療センター医師会病院 周防大島町立大島病院 山口リハビリテーション病院	下関医療センター 小郡第一総合病院 周東総合病院	光市立光総合病院 宇部興産中央病院 小郡第一総合病院 防府リハビリテーション病院 岩国市医療センター医師会病院	山口宇部医療センター 岡田病院 下関医療センター 光市立光総合病院 訪問看護ステーションあぶ

ご協力いただきました病院の皆様、ありがとうございました。

○受講者の背景・就業内容



平成28年度 看護職就職面談会

実施日：平成28年11月30日（水）

場所：パルトピアやまぐち

参加者：19名（内採用5名）

参加施設：18施設

山口県ナースセンターとハローワーク山口の合同で開催しました。

ナースセンターのコーナーでは注射・吸引演習を実施しました。

求職者のアンケートでは、ほとんどの方が「参加したことに満足した」と回答されていました。

また求人の項目で重視する内容は、勤務時間、休日と回答された方が多く、施設担当者の話が直接聞ける今回の面談会は、大変有意義だったと言わっていました。



離職時の届出は提出されましたか？

平成27年10月1日から「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が改正されました。

保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方は山口県ナースセンターに届出ていただくことが努力義務になっています。

届出されると電話またははがきの郵送で登録完了をお知らせします。

3月に退職された方は、所属されていた施設から届出を提出していただける場合もあります。その場合には施設へ届出用紙を提出されたことだと思います。

まだの方はパソコンやスマートフォンから、届出サイト「とどけるん」に届出をしてください。パソコンは苦手という方は山口県ナースセンターに直接お電話(0835-24-5791)ください。

また、長年、看護職に従事されていない方も届出をお願いいたします。

届出の事項：氏名・生年月日・住所・連絡先(電話番号・メールアドレス)

看護師等の登録番号 登録年月日

就業に関する状況

届出された方には素敵なグッズと、ナースセンター事業や研修のご案内、年4回発刊しております山口県看護協会会誌「きらめき」などを郵送します。

離職届出の内容に変更がありましたら、その旨をナースセンターに届け出してください。

平成29年度 事 業 計 画

1. 演習器材の貸出…………… 随 時(3ヶ月前から予約可能)
 2. ハローワーク就業相談(県内7ヶ所)…………… 岩国・徳山・山口・宇部・萩・下関・防府
 3. サテライトにおける看護職者移動相談(県内7ヶ所) 電話予約制
岩国市・柳井市・周南市・山口市・宇部市・長門市・下関市
 4. 再チャレンジ研修
県内協力病院、看護協会の訪問看護ステーション(3ヶ所)にて研修します。
実施期間：Ⅰ期4月～6月、Ⅱ期7～9月、Ⅲ期10～12月、Ⅳ期1～3月
○看護技術演習…………… 毎月第1金曜日・第4火曜日 13時～16時
山口県看護協会の実習室にて行ないます。
○未就業者のつどい…………… 3回(6月7日・10月19日・3月初旬)
 5. 無料職業紹介…………… 随 時
 6. 離職者・未就業者届出サポート…………… 随 時 サテライト窓口でも届出を受け付けています。
 7. 看護フェア…………… 看護フェア会場 山口市予定
 8. 看護職員就労定着支援事業…………… 県内2ヶ所で研修会(日にち未定)
- ※ 詳細につきましては、4月以降のホームページをご確認ください。

求人・求職のご相談は山口県ナースセンター(無料職業紹介)をご利用ください。

TEL 0835-24-5791 FAX 0835-28-9688 E-mail yamaguchi@nurse-center.net

eナースセンター(無料職業紹介サイト) <https://www.nurse-center.net/nccs>
とどけるん(看護師等の届出サイト) <https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

看護師職能Ⅰ・Ⅱ領域の活動紹介

山口県看護師職能委員会

看護師職能委員会は、Ⅰ領域（病院）、Ⅱ領域（介護・福祉関係施設・在宅等領域）の協力体制のもと、以下の4つを目的として活動しています。

1. よりよい看護提供ができるよう看護師職能が抱えている問題を明らかにし、検討・改善を図る
2. 日本看護協会・支部との連携を図り、問題を解決する
3. 健康で安全に働き続けられる職場づくりを推進する
4. 働きやすく、やりがいのある職場環境の改善を支援する

平成28年度の主な活動内容

✿ 看護師職能集会（平成28年6月25日）

テーマ「職場のよりよい人間関係とサポートシステムの構築」

✿ 日本看護協会・支部との連携強化と看護職が抱えている課題発見・情報収集

✿ 外来で看護師が行う在宅療養支援についてのアンケート調査の実施・報告

✿ 看護師職能Ⅱ交流会（平成29年2月18日）

テーマ「認知症の方を地域で支えるための看護連携について」



看護師職能Ⅰ領域では、今年度は、「外来で看護師が行う在宅療養支援についてのアンケート調査」を実施しました。「生活と医療をつなぐ」ためには、病院で働く看護職が地域を意識した看護を展開することが重要であるという視点から、日本看護協会職能委員会での取り組みがなされています。しかし、在宅療養支援には、外来看護の役割の重要性は理解しながらも、役割を重視した看護配置や業務整理がなされていないという課題が抽出されており、今回、山口県における実態を把握し、看護職の意見集約・課題発見を行うことを目的として調査を実施し、各施設のご協力をいただきました。今後、結果のご報告をさせていただくことにより、地域包括ケアシステムの構築・推進にむけた、各施設での取り組みへの一助となればと考えています。

看護師職能Ⅱ領域では、2月18日に病院と介護・福祉施設、在宅等領域合同交流会を開催しました。各領域より62名の参加があり、認知症ケアにおける連携強化や多職種との協働、果たすべき役割などについて情報交換を行い、有意義な交流会となりました。

次年度に向けて・・・

✿ 看護師職能Ⅰ領域

「外来で看護師が行う在宅療養支援について」のアンケート結果に基づき、生活と医療をつなぎ、地域で支える看護職の役割について考える交流会の開催を計画しています。



✿ 看護師職能Ⅱ領域

県内のⅡ領域で働く看護師の実態調査を実施し、看護職の抱えている問題の共有・意見集約を行う予定としています。

平成28年度 看護制度委員会 活動報告

平成28年度看護制度委員会の活動報告をします。委員会は、担当理事：河村直江、委員長：中村美紀、副委員長：清水朝来子、委員：三村晶子、山中知子、佐伯哲代、牟田薰の7名で構成され、准看護師の看護師資格取得支援等を目的として活動しています。

看護制度研修会～皆で考えよう！看護制度の課題と准看護師進学支援～

平成28年11月5日（土）に看護制度研修会を開催し、46名の方に参加していただきました。研修会には2人の講師をお迎えしました。

講演Ⅰ テーマ 「准看護師制度を取り巻く現状と日本看護協会の方針」

講 師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 勝又浜子先生



講義Ⅱ テーマ 「2年制課程通信制教育の現状と進学支援について」

講 師 学校法人日本医療学園附属東亜看護学院 専任教員 来嶋博子先生



勝又先生からは准看護師制度に関する問題点や社会の現状について、来嶋先生からは看護師資格取得に向けた2年課程の通信制について詳しく講義いただきました。研修後のアンケートでは、「平成30年には実務経験7年以上で受験資格が得られるようになるので、今までなら考えていなかつたが通信で頑張ってみようと思った」、「通信制においては独学となるため職場での教育支援をしていきたい」などの前向きな声がありました。

来年度は、支部と協力して交流研修会を開催し、看護師資格取得に向けた活動を実施します。皆さまのご協力をお願い致します。



働き続けられる職場づくり推進事業



平成28年度第3回目の研修を開催しました。 11月24日（木）国際ホテル宇部 参加者 45名

講演1

「笑う門にはいい介護」

かじ山荘デイサービスセンター 施設長 中村学氏

介護に負けない心構えとして、一人で抱え込まない、正々堂々と自由時間を確保しストレス解消を意識する、ということを学びました。「介護とは親として命がけでする子育て」の言葉が印象に残りました。



講演2

「ストップ・ザ・介護離職」

宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科 教授 滝川洋子氏

「実母を一人で介護しているため、講演が自身の体験と重なり勉強になった。」との意見がありました。介護に関する情報や制度を知っておくことが重要と実感しました。



事例発表

「介護休暇を取得して」

美祢市立病院 主任看護師 吉井康子氏

ご自身の経験から、どのような支援があれば働き続けられるかを、わかりやすく話していただきました。



会員のみなさん 全国学会に参加しましょう！

第48回日本看護学会－ヘルスプロモーション－学術集会のお知らせ（第2弾）

平成29年9月21日（木）22日（金）山口市で開催するヘルスプロモーション学術集会の企画が決まりました。

メインテーマ 維新150年、山口からの発信！住民が『しあわせ』になる地域づくりの真髓

基調講演 テーマ：住民が『しあわせ』になる地域づくりの真髓～看護職がつなぐ地域包括ケア～

講 師：平野かよ子（長崎県立大学副学長・看護栄養学部看護学科 教授）

基調講演 テーマ：疲労を科学する～看護職の疲労を解消するヘルスコントロールのために～

講 師：野島順三（山口大学大学院医学系研究科生体情報検査学 教授）

シンポジウム：テーマ：現代の子ども事情（子どもの育ち、遊び、環境）

～家庭で、地域で、みんなで支える子どもの未来～

講 師：てい先生（保育士）Twitterフォロワー約40万人の男性保育士

岩佐奈智（越前市市民福祉部子ども・子育て総合相談室 保健師）

内田一美（福井赤十字病院レディース病棟看護師長 助産師）

交流集会I テーマ：認知症それがどうした～その人らしさを支える看護の輪～

講 師：佐野光孝・明美（静岡県富士宮市在住）稻垣康次（富士宮市産業振興部観光課観光企画係長、NPO法人認知症フレンドシップ富士宮事務局）

交流集会II テーマ：地域で安心して妊娠・出産できる体制づくり

講 師：時高啓二（山口県健康福祉部医療政策課 課長）

小野本ヒロコ（山口県立総合医療センター院内助産院 助産師、山口県助産師会会长）

安田真弓（岩国市子育て世代包括支援センター 保健師）

山口市に結集して、山口から住民が『しあわせ』になる地域づくりの真髓を発信しましょう。！

医療安全情報

(医療安全推進委員会から)

《No.34》

医療安全の5S

医療安全の5Sは、**習慣化と定着**を目指します。



5Sの定義

- 整 理：いるものといらないものをハッキリ分けて、いらないものを捨てる
- 整 頓：いるものを使いやすいようにきちんと置き、誰でもわかるように表示する
- 清 掃：常に掃除をし、きれいにする
- 清 潔：整理・整頓・清掃の3Sを維持する
- しつけ：決められたことを、いつも正しく守る習慣をつける



★5Sの自己チェックをしてみましょう

5S区分	項目	チェック
整 理	期限切れの掲示物はないか	
	不要品と表示された物品や書類は置かれていなか	
	ゴミ箱のごみがはみ出しているか	
	使用できない筆記用具はないか	
	ホワイトボードに不必要な情報が残されていないか	
整 頓	廊下に車いすが放置されていないか	
	掲示物が破れていないか	
	書棚には識別されたとおりに書類などが保管されているか	
	ごみの分別は行われているか	
	机の上は作業ができるスペースが確保されているか	
清 掃	机の周りに飲食物が置かれていないか	
	職場にごみが落ちていないか	
清 潔	入口の消毒液は不足していないか	
	ユニフォームは汚れていないか	
しつけ	ネーム札をつけているか	
	挨拶を行ったか	

参考：院内研修にすぐ使える！KYT&5SCD教材 著書：福丸典芳 2015年

自己チェックシートを使って現状を把握し、評価・改善をしましょう。

選挙についてのお知らせ

平成29年度 公益社団法人山口県看護協会役員・推薦委員の選挙について

公益社団法人山口県看護協会では、平成29年6月18日（日）に開催の通常総会において、平成29年度改選役員・推薦委員の選挙を実施します。つきましては、選挙管理委員会が役員及び推薦委員の立候補の受付を推薦委員会が推薦委員の推薦の受付を行います。

○選挙管理委員会からのお知らせ

山口県看護協会の改選役員・推薦委員の選挙を次のとおり実施いたします。

- 1 改選役員・推薦委員
会長 第二副会長 常務理事（庶務担当） 保健師職能理事 全区理事 内部監事 各1名 推荐委員 7名
- 2 任 期 平成29年6月18日（日）総会終了時～平成31年6月16日（日）総会終了時まで
※但し、推薦委員の任期は下記のとおり
平成29年6月18日（日）総会終了時～平成30年6月17日（日）総会終了時まで
- 3 立候補受付期間 平成29年5月1日（月）～5月31日（水）
- 4 立候補基準
(1) 山口県看護協会の会員で、協会組織を理解している人
(2) 山口県看護協会の理念・目的を理解し、役員としての責務を果たせる人
(3) 山口県看護協会総会に出席できる人
- 5 立候補の届出
立候補される方は、会員5名以上の推薦を受けて、届出用紙を5月31日までに山口県看護協会選挙管理委員長宛に郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局（TEL 0835-24-5790）にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒 747-0062 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会選挙管理委員会委員長宛に郵送（親展・当日消印有効）
- 6 選挙期日 平成29年6月18日（日）

○推薦委員会からのお知らせ

平成29年度山口県看護協会の推薦委員の候補者について、会員各位におかれましては、該当する方をご推薦下さい。なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

- 1 選出人数 推荐委員 7名
- 2 推薦基準 立候補基準と同じ
- 3 受付期間 平成29年5月1日（月）～5月31日（水）
- 4 推薦の届出
推薦される方は、届出用紙を5月31日までに推薦委員会あてに郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局（TEL 0835-24-5790）にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒 747-0062 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会推薦委員会委員長宛に郵送（親展・当日消印有効）

平成30年度公益社団法人山口県看護協会代議員及び予備代議員選挙について

公益社団法人山口県看護協会選挙及び選挙管理委員会に関する規程により、平成30年度の代議員及び予備代議員の選挙を行います。代議員及び予備代議員の選挙を行うにあたり、代議員及び予備代議員の立候補と推薦の受付を行います。

○選挙管理委員会からのお知らせ

代議員及び予備代議員の選挙を次のとおり実施いたします。

- 1 選出代議員数及び予備代議員数
代議員数は平成29年4月20における各支部の正会員の総数50人につき1人の割合を持って選出いたします。予備代議員数は各支部の代議員数の状況に応じて選出いたします。
- 2 任 期 平成29年8月1日～平成30年7月末日
- 3 立候補受付期間 平成29年5月1日（月）～5月31日（水）
- 4 立候補基準
(1) 山口県看護協会の会員で、協会組織を理解している人
(2) 山口県看護協会の理念・目的を理解し、代議員としての責務を果たせる人
(3) 山口県看護協会総会に出席できる人
- 5 立候補の届出
立候補される方は、届出用紙を5月31日までに山口県看護協会選挙管理委員長宛に郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局（TEL 0835-24-5790）にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒 747-0062 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会選挙管理委員会委員長宛に郵送（親展・当日消印有効）
- 6 選挙期日 平成29年7月に実施される各支部の支部集会の日

○推薦委員会からのお知らせ

平成30年度代議員及び予備代議員の候補者について、会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦下さい。なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

- 1 選出人数 選挙管理委員会からのお知らせと同じ
- 2 推薦基準 立候補基準と同じ
- 3 受付期間 平成29年5月1日（月）～5月31日（水）
- 4 推薦の届出
推薦される方は、届出用紙を5月31日までに推薦委員会あてに郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局（TEL 0835-24-5790）にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒 747-0062 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会推薦委員会委員長宛に郵送（親展・当日消印有効）

平成30年度日本看護協会代議員及び予備代議員立候補者選挙について

公益社団法人日本看護協会定款及び公益社団法人山口県看護協会の「日本看護協会代議員及び予備代議員選挙規程」に基づいて、立候補と推薦の受付を行います。

山口県看護協会では、日本看護協会の委託をうけて、平成29年6月18日(日)の県総会で平成30年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出を行います。そのため、選挙管理委員会が立候補の受付と推薦委員会が推薦の受付を行います。

○選挙管理委員会からのお知らせ

日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を次のとおり実施いたします。

- 1 選出代議員数及び予備代議員数
日本看護協会代議員数 10名
日本看護協会予備代議員数 10名
- 2 任期 平成30年4月1日から1年間
- 3 立候補受付期間 平成29年5月1日(月)～5月31日(水)
- 4 立候補基準
(1) 日本看護協会の理念・目的を理解し、1年間代議員として責務を果たせる人
(2) 山口県看護協会会員で、協会組織を理解している人
(3) 日本看護協会総会に出席できる人
- 5 立候補の届出
立候補される方は、届出用紙を5月31日までに山口県看護協会選挙管理委員長宛に郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(Tel 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒 747-0062 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会選挙管理委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)
- 6 選挙期日 平成29年6月18日(日)

○推薦委員会からのお知らせ

平成30年度日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者について、会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦下さい。なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

- 1 選出人數 選挙管理委員会からのお知らせと同じ
- 2 推薦基準 立候補基準と同じ
- 3 受付期間 平成29年5月1日(月)～5月31日(水)
- 4 推薦の届出
推薦される方は、届出用紙を5月31日までに推薦委員会あてに郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(Tel 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒 747-0062 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会推薦委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)



支部

Information

(4月～6月)

支部名	月日(曜日)	時間	場所	行事名等
岩国	5月13日(土)	10:00～14:30	ゆめタウン南岩国	まちの保健室 まちの保健室 ※都合により中止となる場合があります。
	6月10日(土)	10:00～14:30	ゆめタウン南岩国	
柳井	6月17日(土)	10:00～12:00	ゆめタウン柳井	まちの保健室(健康相談・血管年齢チェック等)
周南	4月9日(日)	10:00～15:00	サンリブ下松	まちの保健室
	6月11日(日)	10:00～15:00	サンリブ下松	まちの保健室
防府	4月16日(日)	10:00～15:00	ゆめタウン防府	まちの保健室
	5月7日(日)	10:00～15:00	イオン防府	看護の日記念行事
宇部	4月15日(土)	10:30～15:30	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	5月20日(土)	10:30～15:30	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	6月17日(土)	10:30～15:30	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	6月24日(土)	10:00～12:00	フロンティア大学	宇部リハの摂食嚥下認定看護師に依頼予定
小野田	5月21日(日)	10:00～14:30	サンパーク小野田	まちの保健室
	6月18日(日)	10:00～15:00	道の駅おふく	まちの保健室
豊浦	4月22日(土)	10:00～12:00	マーレとようら	まちの保健室(健康相談・血管年齢測定)
	5月27日(土)	10:00～12:00	道の駅螢街道西ノ市	まちの保健室(健康相談・血管年齢測定)
	6月24日(土)	10:00～12:00	マーレとようら	まちの保健室(健康相談・血管年齢測定)
下関	5月13日(土)	10:00～16:00	シーモール下関 2F サンパティオ	「看護の日 国際助産師の日」イベント
	6月3日(土)	13:30～16:00	ゆめシティ	まちの保健室



「職場のちよこつと自慢」に変わり、会員相互の交流を図る場としてリレー形式でメッセージを掲載する新コーナーを設けました。山口大学医学部附属病院看護部長 猪上妙子様に、新企画のトップバッターをお願いしました。

皆様からの温かいメッセージが心の架け橋となり、いつまでもつながっていきますように♡

後輩のみなさんへ

山口大学医学部附属病院 猪上 妙子

「すべての経験は成長の糧となる」今、私がいちばん伝えたいことです。あっという間に時間が過ぎ、40数年も看護師を続けてきました。楽しいこと、辛いこと、悔しいこと、失敗したこと、嬉しかったこと…いろいろなことがありました。私は入職後、内科系の混合病棟に配属され、その後5つの異動を経験しました。1年半や2年での異動、出向も経験しました。

看護師長になってからも1年で一般病棟から材料部へ異動。いつも突然の命令のように感じられ、予期せぬ方向へと進む不安と焦りがありました。しかし、これが私のいちばんの強みになりました。予期せぬ部署での様々な人の出会いや体験は「すべての経験は成長の糧となる」これは実感です。

看護は年を重ねてもずっと成長を感じることのできる仕事です。だから、みなさん、嫌がらず恐れずいろいろな経験を積んでいって下さい。看護は素晴らしい仕事ですよ。



表紙に寄せて

山口支部は、11月5日に山口県健康福祉部健康増進課主催の「やまぐち元気フェア」にまちの保健室を出展しました。物忘れタッチパネルや骨ウェーブ、血管年齢・体脂肪・肌年齢測定などをいました。小学生から90歳まで200名の方が、まちの保健室に来てくださいました。これからも地域の皆さんとふれあう機会を大切にしていきたいと思います。

お知らせ

- ★国際助産師連盟(ICM)セーフ・マザーフッド基金の送金 平成28年度の募金6,205円を平成29年2月16日に、公益社団法人日本看護協会に送金しました。
ご協力をいただきありがとうございました。
- ★会報についてご意見等(掲載を希望される記事等)ございましたらご連絡ください。

総務課:TEL (0835) 24-5790 FAX (0835) 24-1230
E-mail:hayakawa@y-kango.or.jp

編集後記

春ですね♡新たなる29年度!パワー全開でがんばります。

(山本・渡辺・金田)

入会 平成29年度の入会について

現在、平成29年度の入会受付をしております。手続きは、なるべく早くお願ひいたします。会費は一人 15,000円(日本看護協会会費を含む)です。新加入の方には入会金の納入もお願いします。

山口県看護協会事業を発展させるためには皆様方がひとりでも多く会員になってくださることが必要です。社会のニーズに応えられる看護をめざすために会員として入会しましょう!!!

会員証について



プラスチック製の会員証はお手元に届いておりますでしょうか。

こちらの会員証は永年になりますので、大切にお使いください。名字が変更、紛失等ございましたら再発行いたしますので、ご連絡ください。

お問い合わせ先:総務課
TEL (0835)24-5790 FAX (0835)24-1230
E-mail:hayakawa@y-kango.or.jp

まぐわ

山口県看護協会報
やまぐちナースセンターだより

Vol.137
平成29年4月1日

●発行 公益社団法人 山口県看護協会
防府市大字上右田2886 TEL0835-24-5790
●発行責任者 吉村喜代子 ●印刷 コロニー印刷

<http://www.y-kango.or.jp/>